

# 第19回 Fukuoka Knee Society

日時：平成25年11月16日(土)

会場：エルガーラホール7階多目的ホール

研修者：池田真琴(理学療法士／部長)

平石大樹(理学療法士)

## 【1st session:TKA】

TKAをテーマとし、6演題の発表が行われました

インプラントの設置位置に関すること

3次元モデルを用いた術前計画の有用性

DVT発生部位に関する検討など

## 【2nd session:骨切り・一般】

骨切り術や、半月板治療に関する討論が行われました

内側UKA後の冠状アライメントの予測に関して

内側root tearに対する保存的治療について

二層性半月板例の紹介

HTOに関する術法の検討など

## 【3rd session: 靭帯】

膝に関する靭帯組織について様々な討論が展開されました

PCL損傷後のOA合併例について

MPFL大腿骨付着部の肉眼指標に関する検討

ACL再建術に関して

→中高年に対する再建術の有効性

→BTBを用いた再建術に関する報告など

## 【特別講演】

『前十字靭帯再建術の歴史と今後の展望』

神戸大学大学院医学研究科 整形外科学科

教授 黒坂 昌弘 先生

## 池田 真琴：理学療法士／リハビリ部長

人工関節や骨切り術、靱帯再建術における手術手技術や後成績、症例報告などを聴衆させて頂きました。発表される方はドクターで、内容についていくことで精一杯でした。

今回、様々な意見を聴衆させて頂きとても勉強になるとともに、勉強したいという気持ちになりました。手術をするのはドクターですが、術後の患者のリハビリを行う以上、手術手技を理解しておくことはもちろんであり、最新の知見を知る必要があります。

最新の治療方法を見つけるべく、絶えず研究が行われています。

常に知識をアップデートし、日々の治療に活かしていきたいと思います。

## 平石 大樹：理学療法士

各セッションならびに特別講演すべての内容が深く、考えさせられ刺激を受けることができました。

Dr.の方々による様々な手術技術、ならびに症例報告などを聴衆させて頂いた中で、術後後療法に携わらせて頂くにあたり、再度最新の知見をアップデートしていくことの重要性について考えさせられました。

患者さんに最高の医療サービスを提供していくためには、接遇面のスキルアップは当然のことですが、自身の医学に関する知識・技術の向上に努めなければならないことは言うまでもありません。

今後もこの医療業界で仕事をさせて頂くにあたり、理学療法グループの域に留まることなく、Dr.の方々に対しても自分の意見や考えを持って討論できるように日々精進していきたいと思えます。

このような貴重な経験をさせて頂き、誠に有り難うございました。